

\*\*\*\*\*

2009年度 第5回 音環境運営委員会 議事録

記録:堀之内

\*\*\*\*\*

A. 日 時 2010年1月22日(金) 17時00分~19時00分

B. 場 所 建築会館会議室

C. 出席者 大鶴 徹、佐久間哲哉、田端 淳、土田義郎、中澤真司、羽入敏樹、平光厚雄、堀之内吉成、峯村敦雄、吉村純一(敬称略)

欠席者 安藤 啓、井上勝夫、岡田恭明、佐藤史明、濱田幸雄、平松友孝、宮島徹、渡辺充敏(敬称略)

D. 提出資料

No.5-0 2009年度 第4回音環境運営委員会議事録(案)(渡辺)

No.5-1 CASBEE(新築・既存)・『Q1 室内環境/1.音環境』改定案(田端)

No.5-2 日本音響学会建築音響研究会・今後の予定(佐藤)

No.5-3 日本音響学会騒音・振動研究会・今後の予定(岡田)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.5-0)

- ・3. 小委員会活動報告・固体音小委員会の「次回は10/9予定」の一文を削除
- ・表記ミス一件を修正
- ・上記以外は承認された。

2. 環境工学本委員会(2010.1.22)報告(田端主査)

- ・2009年大会(東北)における環境工学部門の研究懇談会「建築環境のシミュレーション技術と将来展望」は、138名の参加があり、資料(250部)は完売した。
- ・同懇談会の資料は、AIJ デジタルライブラリにて12月上旬より頒布。(ダウンロード価格¥700、2010年4月より無料)
- ・2010年度調査研究委員会予算配分において、環境工学は2009年度比1.06%の増額。
- ・小委員会活動成果報告書を2/15(月)までに提出するよう依頼があった。
- ・第49回(2010年度)竹中育英会建築助成候補募集について説明があった。
- ・2010年度日本建築学会国際交流振興基金の援助申請について、2009年度の利用例も含めて説明があった。
- ・2010年度情報保障に関する費用支援の申請について説明があった。
- ・2010年度日本建築学会大会(北陸)の開始時刻について、通勤時間帯の渋滞等を避けるため、30分繰り下げる。
- ・同大会の学術講演会の応募要領について説明があり、音関連ではO.S.「音環境数値シミュレーションの新展開」が予定されている。
- ・同大会における環境工学部門の研究集会企画の日程が決定した。研究懇談会「どんな快適環境をめざすのか：環境工学研究の基本的枠組みを再考する」は1日目午後、研究協議会「地球環境の時代に環境工学分野の研究成果を広く社会に活かすために」は、第2日の午後に決定。PD「今考える、住宅照明の未来」(3日午後)は取りやめになる可能性がある。(→研究懇談会における音環境の主題解説者候補は審議事項.4(後述))
- ・「2010年度特別研究テーマ」に7件提案があり、選考の結果、3件が選択された。
- ・「2010年度若手奨励特別研究テーマ」に5件提案があり、審査の結果、2件が採用された。
- ・「2009年度 鹿島学術振興財団研究助成」に環境工学本委員会からは委員長判断により、1件推薦された。
- ・論文集委員会委員10名中5名を改選。うち音環境から一名推薦。(→審議事項.4(後述))
- ・技術報告委員会委員8名中4名を改選。音環境は古屋先生が留任。
- ・論文集委員会査読委員および技術報告集査読委員に候補者追加の依頼があった。後日、現委員リストをメールで送付するので、チェックの上、候補者を推薦する。(後日、7名の候補者が田端主査から事務局にメールで報告された)
- ・2010年4月から、これまでの音環境アカデミックスタンダードWGを小委員会に格上げすることが了承された。

- 2010年度予算配分において、音環境運営委員会は700,000円と決定。前年702,000円から0.1%減。
- 2009年度の環境工学委員会・運営委員会の自己評価の提出のため、各小委員会主査は過去5年間の活動状況等をメールで田端主査まで報告頂くよう依頼。
- 5月27日(木)にシンポジウム「AIJ-ES都市・建築空間の音声伝送品質の評価規準・同解説」刊行に向けて」が開催予定。
- 環境工学本委員会メールマガジン運用ルール案について説明があった。
- 委員会予算の執行状況について報告があった。2010年1月21日時点で、各小委員会も含む音環境運営委員会全体の執行状況は46%。各委員会間で調整するよう申し合わせ。

### 3. CASBEE 改定案について

- CASBEE(新築・既存)・『Q1 室内環境/1.音環境』改定案について検討した。結果は下記の通り。
  - ◇ 「住」の文字をはずす。(1ページ目ほか)
  - ◇ 2ページ目右:アンダーラインの文献を「建物の床衝撃音防止設計」(日本建築学会編 2009)に変更。
  - ◇ 4ページ目右:「参考1)」の図を差し替え(前項の文献:6ページ図2.3)。
  - ◇ 1ページ目右:「どちらとも言い難い場合は・・・」の文を削除
  - ◇ 文献3)、文献6)の書籍をそれぞれ変更

### 4. 各委員等の候補について

- 大会プログラム編成会議(2010.04.27(火)午後)には、運営委員会ならびに各小委員会の主査、計7名が出席。
- 2010年度大会の研究懇談会における音環境の主題解説者として、佐藤洋先生を推薦。
- 論文集委員会委員に佐久間先生を推薦。

### 5. 小委員会・WG 活動報告

#### 固体音小委員会(中澤主査)

- 12月18日に第5回委員会を開催。
- 委員による床衝撃音の聴感試験を12月中に行い結果の検討を行う予定であったが、未だ終了していない。1月27日に清水建設技術研究所の施設をお借りして試験を行う予定。
- 2月19日に第7回委員会を開催し、粗集計結果について審議する予定。
- 固体音測定法WG:
  - 11/12に第3回WGを開催。
  - 地下鉄固体音の測定方法・分析方法などの文献調査を進めている。
  - 調査範囲は、建築学会だけでなく、他学会報文まで広げ調査を進めている。
  - 次回は4月16日開催予定。

#### 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査)

- 12月14日に委員会を開催。関係者に依頼して提出頂いた室内環境騒音測定シートについて検討した。
- 次回開催は2月19日の予定。

#### 建築音響測定法小委員会(宮島主査)

- 第4回委員会を12月7日に開催した。
- フランキングに関して、吉村委員にEURO NOISE2009・EN12354seriesのセッションについて概要報告を行って頂き、委員間の情報共有と今後の進め方の議論・検討を行っている段階。
- 実騒音を用いた遮音性能測定法の検討については、名古屋の超高層現場での測定を計画。雨天順延などがあったが、2月中には実施する予定。
- 武蔵小金井駅隣接の超高層集合住宅での実測データを用い、実騒音による遮音測定の適用範囲(列車の通過本数とS/Nと測定可能な遮音性能の上限、等)の検討を行っていく予定。
- 次回委員会は2月15日に開催予定。

#### 室内音響小委員会(羽入主査)

- 12月14日に第4回委員会を開催。設計者と音響技術者間でディスカッションを行った。その成果を元に最終的にシンポジウム開催予定。また、吸音に関する設計資料・データベース整備について議論した。
- 音響指標測定WG:12月17日に第1回委員会を開催。経緯説明があり、目的の共有がなされた。
- スピーチプライバシーWG:12月16日に開催。現在は、個別に研究を進めている段階である。
- 次回委員会は2月16日に開催予定。

#### 音響数値解析小委員会(佐久間主査)

- 12月22日に第3回委員会を開催。音環境の数値シミュレーション刊行小委員会(大鶴主査)と連動し、2011年3月発刊予定の書籍の原稿について読み合わせを行った。進捗状況は、約20%である。

- 2010年度大会のOSについて、発表者・タイトル・内容などについて調整した。
- 次回は3月17日に開催予定。

企画・広報WG（峯村委員）

- 11月28日に委員会を開催した。
- 産学連携に関する調査のSWGは、資料の収集・分類による研究動向調査をすすめている。騒音問題低減のための住まい方マニュアルに関する検討SWGは、各種の住まい方マニュアルの調査、また望ましいマニュアルのあり方等についての議論などが進行中。
- 次回委員会は2月3日に開催予定。

音環境アカデミックスタンダードWG（平松主査）

- 11月30日に、第4回音環境アカデミックスタンダードWG開催。赤本の内容に準じてアカスタを作成する場合の問題点について、測定法SWGは設置せず遮音性能規準SWGで適宜対応、遮音性能規準の設置の考え方、遮音性能規準と生活実感による表現などについて議論。
- 12月14日に、第2回集合住宅遮音設計指針SWG開催。SWGの方針とスケジュールについて説明があり、室内騒音の評価法等について議論。
- 12月16日に、第2回遮音性能規準SWG開催。遮音性能規準の有り方等について議論。赤本の遮音性能規準の問題点を再確認。

6. 他学会の予定

日本音響学会・建築音響研究会	3/31	ヤマハ豊岡工場
	4/26	東大生研
日本音響学会・騒音振動研究会	1/22	新潟大学
	2/19	大阪大学・吹田キャンパス

7. その他

- 特になし

8. 次回の予定

- 次回は2010年3月16日(火)17:00～ 建築会館・会議室

2009年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2009.5.21(木)	実施
第2回	2009.7.30(木)	実施
第3回	2009.9.25(金)	実施
第4回	2009.11.18(水)	実施
第5回	2010.1.22(金)	実施
第6回	2010.3.16(火)	(決定)